



消防通信

No.18



故郷（ここ）には、双葉消防だからできることがある

発行日：平成28年1月1日

発行元：双葉消防本部 総務課

所在地：楡葉町大字山田岡字仲丸1-110

電話：0240-25-8523

ごあいさつ

=希望の光が見える、愁いなき年となりますように=

平成28年の新年に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

双葉郡住民の皆様におかれましては、4年10ヶ月という長きにわたり、住み慣れた故郷を離れ全国各地において、憂いの想いを抱きながら不自由な避難生活を過ごされていることに対して心よりお見舞いを申し上げます。

双葉消防本部では、避難されている方々に安心感を抱いてもらい少しでも心身を癒やしていただきたいという想いで、応急仮設住宅の巡回訪問をさせていただいておりますが、双葉郡皆様の心の暖かさに触れ、逆に消防職員が元気づけられそして勇気をいただき心より感謝申し上げます。巡回訪問は、皆様が平穏な生活を取り戻されるその日までしっかりと継続して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

さて、双葉地方におきましては、6号国道の自由通行や昨年3月1日の常磐自動車道の全線開通、そして各町村における除染・インフラ復旧など復興・再生へ向けた様々な動きが加速化しておりますが、これに伴い双葉郡内への流入人口が増加しております。加えて、除去土壌等の中間貯蔵施設への試験輸送が開始されたことなどにより火災や交通事故の発生危険度が高まって参りました。

特に、広大な帰還困難区域を抱える北双方部においては、発見通報の遅れによる大規模火災の発生が危惧されております。

こうしたことから、昨年4月にはサンシャイン浪江臨時庁舎に移設した浪江消防署の機能強化を図るため、消防職員30名を配置しております。この体制により、避難指示区域内の一時帰宅者やインフラ復旧等のため入域されている方々の救護対応及び火災の早期発見・消火体制が強化されました。

また、昨年11月1日からは、富岡町中央2丁目の富岡町消防団第一分団屯所をお借りして、ポンプ車と救急車が駐留する「富岡消防署臨時拠点」を開所し、富岡消防署の一部機能を再開いたしました。この臨時拠点の再開により、帰還困難区域で発生した火災の初動体制を強化するとともに、福島第一原発への迅速な対応が強化されました。

双葉消防本部は、今後も管内の情勢の変化を見極め、適時適正に消防体制の再構築を図りながら、住民の皆様への心の拠り所となれるよう元氣な消防の姿をお見せするとともに、帰還に直結する安全の確保を確実にして、ふるさとの復興再生と、住民の皆様への幸福度が少しでも向上するよう、全署所・全職員の力を結集して対応する決意でありますので、今後ともご理解のほど宜しくお願いいたします。

結びに、平成28年が皆様にとって愁いのない、希望の光が見える1年になることを心より祈念いたします。

双葉地方広域市町村圏組合消防本部
消防長事務取扱 松本 幸英

富岡町に富岡消防署臨時拠点を開所しました。

富岡町中央地内に、富岡消防署臨時拠点を平成27年11月1日に開所いたしました。

富岡消防署は、東日本大震災後閉鎖しており帰還困難区域に立地していることから、再開の目途が立っておりませんでした。

今般臨時拠点を開所することにより、富岡町・大熊町における災害対応の迅速な初動体制が確立されると共に、双葉郡各町村への消防力の対応強化にも繋がるものと考えております。



住所：富岡町中央2丁目86番地
電話番号：0240-23-6951

〔富岡町消防団第一分団屯所内〕
開所時間：8時30分～17時00分

火災テレホンサービスのご案内

双葉消防本部ページ →



双葉消防本部では、災害の発生状況をテレホンサービスでお知らせしています。病院照会等のお問い合わせについても下記のダイヤルへお願いします。

【火災テレホンサービス (0240-26-0366)】

【病院紹介等の問い合わせ (0240-25-8561)】



119番での問い合わせは災害活動の妨げとなりますのでご注意ください。

第14回双葉地方広域消防職員意見発表会が開催されました！

去る平成27年12月3日（木）、楡葉町あおぞらこども園において第14回双葉地方広域消防職員意見発表会がおこなわれ、富岡消防署川内出張所の木下佳祐消防士長が最優秀賞を受賞し、今年2月に福島市でおこなわれる第39回福島県消防職員意見発表会へ双葉消防本部代表として出場することとなりました。

木下消防士長は近年、幼少期における死因の第1位が不慮の事故である事に着目し自分も3人の息子を持つ親として子供達の命を不慮の事故からどう守るかを日々考え、家庭で危険予知訓練ができる「危険予知マンスリーカレンダー」を提案し、親子一緒になって毎月その季節にあった危険を共有し予知訓練をおこなう事によって、不慮の事故がなくなり子供達が将来、危険回避能力を身につけ自立した大人へと成長する事を願い発表し、これが各審査員から高い評価を受け最優秀賞受賞となりました。

木下消防士長には、福島県消防職員意見発表会においても最優秀賞を目指し頑張ってもらいたいと思います。



第14回 双葉地方消防職員意見発表会 発表者のご紹介

◎木下佳祐（本宮市出身）
「不慮の事故がゼロになるその日まで」
井出泰平（川内村出身）
「車内からの通報精度向上のために」
根本達也（広野町出身）
「あたりまえにある日常」

石井俊久（双葉町出身）
「消防の可能性」
藤田知宏（浪江町出身）
「緊急走行」

「収れん火災」にご注意を！！

収れん火災とは、凸レンズや凹面鏡の反射によって一点に集中した太陽光が可燃物を発火させる火災です。発生件数は、決して高くないものの、冬期は太陽の高度が低く、直射日光が室内に入り易くなるため危険が高まります。対策としては、レンズおよび凹面鏡の役割を果たす物を直射日光の当たらない場所に置くこと。また、日中の長時間外出時には、カーテンを閉めて直射日光を室内に入れないことも有効です。



虫眼鏡



ペットボトル



水晶玉



鏡



眼鏡



ビニールハウス等
上部の水たまり

川内出張所だより



ふれあいゲートボール交流会



幼年消防クラブ防火パレード



島根県立隠岐島前高校生徒見学

川内出張所では、いろいろな行事をととして川内村のみなさんと交流を深め防火意識の高揚に繋がるよう取り組んでいます。毎年、「火災のない、安全、安心の村作り」を目的に川内村体育協会ゲートボール部と交流会を開催しています。秋季全国火災予防運動週間には認定こども園かわうち保育園幼年消防クラブ員と共に村内をパレードし火の用心を呼びかけています。また、昨年9月に双葉郡教育復興ビジョンに係る他地域交流事業で福島県立双葉未来学園高等学校と島根県立隠岐島前高等学校の生徒が来所し震災から川内村帰村後の消防の現状課題について理解を深めていただきました。

平成27年度全国統一防火標語 『無防備な 心に火災が かくれんぼ』



連絡先

双葉消防本部
楡葉分署
川内出張所
富岡消防署臨時拠点

0240-25-8523
0240-25-2119
0240-38-2119
0240-23-6951

消防指令センター
浪江消防署臨時庁舎
葛尾出張所

0240-25-8561
0240-34-7360
0240-29-2119

